

環境・エネルギーフォーラム2019 in 仙台

～官民連携による持続可能なまちづくり～

2019年

2月13日 **水**

13:00 受付開始、13:30 開始～17:00

会場：(株)七十七銀行 本店ビル 4F 大ホール

主催：(株)七十七銀行、(株)三井住友銀行、仙台市

協賛：スカイマーク(株)

プログラム

13:30-13:35	主催者挨拶
	株式会社七十七銀行 地域開発部長 小林 寛 様
13:35-13:55	イントロダクション
	● 加速するSDGsへの取組とグリーンファイナンスの動向 株式会社三井住友銀行 成長産業クラスター ユニット長 西村 克俊
13:55-14:15	講演①
	● 省エネルギーに関わる平成31年度施策 経済産業省 東北経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課 課長 川嶋 孝 様
14:15-14:35	講演②
	● エネルギー自律型のまちづくりの取組みについて 仙台市 まちづくり政策局 防災環境都市・震災復興室 エネルギー政策担当課長 柴永 規行 様
14:35-15:00	講演③
	● 企業と手を携えて進むKOBÉ 神戸市 環境局 環境貢献都市担当部長 林 千景 様
休憩(15分)	
15:15-15:40	講演④
	● 「バーチャルパワープラント実証プロジェクト」について 東北電力株式会社 企画部 副部長 門脇 伸好 様
15:40-16:05	講演⑤
	● 「顔の見える電力」が生み出すひと・まち・地域のつながり みんな電力株式会社 代表取締役 大石 英司 様
16:05-16:30	講演⑥
	● エコモデルタウン事業とそこから生まれたAiNestの取組み 国際航業株式会社 技術サービス本部 本店営業部 グループ長 株式会社AiNest 代表取締役社長 加藤 清也 様
16:30-17:00	名刺交換会

お申込み方法

FAX送信方向

下記必要事項をご記入の上、**FAXにて直接お申込み下さい。**

「環境・エネルギーフォーラム2019 in 仙台」参加申込書

FAX:022-267-5303

七十七銀行 地域開発部 地域開発課

お申込み期限:2月8日(金)

貴社名・団体名		
ご所属・お役職 (電話番号)	()	ご芳名
	()	

開催概要

日時	2019年2月13日(水) 13:30~17:00/受付 13:00~
会場	七十七銀行 本店ビル 4F大ホール 宮城県仙台市青葉区中央3丁目3-20 ※駐車場はございませんので、公共の交通機関をご利用ください。
申込方法	事前申込制となります。詳細は下記をご参照下さい。 ※ 定員となり次第締切とさせていただきます。
参加費	無料

アクセス



お問い合わせ

株式会社三井住友銀行(成長産業クラスター/梅澤)

TEL:03-6706-6812 E-mail:Umezawa_Satoe@dn.smbc.co.jp

- ※ 上記の申込内容は、恐れ入りますが、ご出席者様ごとにすべての項目についてご記入下さいますよう、お願い申し上げます。
- ※ 恐れ入りますが、当日はご出席者様のお名刺を1枚ご持参くださいますようお願い申し上げます。
- ※ ご本人様以外の方がご出席の場合は、事前に事務局まで参加者変更のご連絡をお願い致します。
- ※ イベントには報道関係者が参加する場合がございます。
- ※ 講演テーマは、予告なく変更させて頂く場合がございますので、ご了承ください。
- ※ お客さまの情報は、主催者および登壇者で共有の上、適切に管理し、本セミナーの実施及び今後のセミナーのご案内等、各種情報提供業務等のために利用させていただきます。

下記利用目的をご確認の上、お申込みください。

●お客さまの情報の利用目的について

私どもは個人情報の保護に関する法律(平成15年5月30日法律第57号)に基づき、お客さまの個人情報を、預金や融資業務のほか、銀行が営むことができる業務およびこれらに付随する業務において、下記利用目的で利用いたします。

金融商品やサービスの申込受付、資格等の確認、継続的なお取引における管理、融資取引やリスク商品等の適合性の判断、金融商品やサービスの研究や開発、各種ご提案、お取引の解約や事後管理、権利の行使や義務の履行、与信業務における個人情報機関の利用、委託業務の遂行等、お客さまとのお取引を適切かつ円滑に履行するため。

なお、個人信用情報機関より提供を受けた個人信用情報、ならびに金融分野における個人情報保護に関するガイドラインに定められた機微(センシティブ)情報は銀行法施行規則等に基づき限定されている目的以外では利用いたしません。

復興金融ネットワークメンバーによる復興に関する取組事例

団体名	株式会社三井住友銀行
取組名称	クレジットカードのポイントを活用した「J ヴィレッジ」の再整備支援
取組概要	(概要) クレジットカードのポイント寄附を「J ヴィレッジ」の再整備財源に活用 (背景と経緯) サッカーのナショナルトレーニングセンターとして日本サッカー界に貢献してきた施設である「J ヴィレッジ」は、東日本大震災の発災以降、福島原子力発電所事故復旧対応の最前線基地となり閉鎖を余儀なくされたが、平成30年夏にサッカー施設として再始動した。新設する全天候型練習場の建設費には、スポーツ振興くじ（サッカーくじ）助成金と法人・個人からの寄附金が充てられることとなった。 三井住友銀行は、「J ヴィレッジ」の再始動を応援するため、グループ会社である三井住友カードを福島県に紹介し、クレジットカード利用者がポイントを「J ヴィレッジ」の復興に寄附できるプログラムをスタート。
取組成果	(成果) 三井住友カードは、地元東邦銀行とともに「V J Aグループ(※)共通ポイントサービス『ワールドプレゼント』」のポイントを、平成30年4月より、同グループのクレジットカード利用者のポイント交換サービスとして、「J ヴィレッジ復興寄附金」を提供。 (※) 三井住友カードおよび東邦銀行をはじめとする全国の主な銀行・金融機関系カード会社60社で組織する企業連合 The diagram illustrates the process where credit card points are converted into restoration funds for J-Village. It shows a flow from credit cards, through a point exchange program, to the restoration funds. A photo of a soccer player on a field is also included, with the text 'J-VILLAGE 2018 7.28 OPEN'.
その他	(事業化にあたってのポイント) ・「J ヴィレッジ」は「サッカーの聖地」として愛されてきた施設であり、福島の復興のみならず、サッカー振興に関心のある個人からの支援が期待できる。 ・ふるさと納税やクラウドファンディング同様、復興に対する想いが詰まった支援であり、利用者は、現金の拠出がない分、負担感なく、復興支援に参加できる仕組みとしたこと。